

令和4年度  
第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画  
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課



\*\*\* 目 次 \*\*\*

令和4年度 第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 経 緯	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 方針ごとの実施状況	4
①方針1 企業の誘致と留置の推進	4
②方針2 新市場・販路開拓に対する支援	5
③方針3 新製品・技術開発等に対する支援	7
④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化	8
⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成	11
⑥方針6 伝統工芸技術の保存・継承	13
(2) 実施状況の総括	14
4 各事業の進実施状況管理個票	17



## 令和4年度 第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告いたします。

### 1 経 緯

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、継続的にものづくり産業の振興を推進するため、第3次静岡市総合計画及び第2次静岡市産業振興プランとの整合を図り、平成27年3月に第2次基本計画を策定し、計画目標の達成に向け取り組んできました。

この第2次基本計画が平成31年3月に満了したことから、これまでの基本計画と同じく、条例の目的に定めるとおり「ものづくり産業の振興を総合的かつ計画的に推進し、もって地域経済の健全かつ持続的な発展及び市民生活の向上に寄与する」ことの達成に向けて、平成31年4月に第3次基本計画を施行しました。

### 2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える6つの方針に基づき全21の事業を設けました。

根 拠 法 令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計 画 期 間	平成31年度～令和4年度（4か年度）
策 定 目 的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計 画 構 成 等	(1) 計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 (2) 方 針 方針1 … 企業の誘致と留置の推進 方針2 … 新市場・販路開拓に対する支援 方針3 … 新製品・技術開発等に対する支援 方針4 … 中小企業の経営基盤・競争力の強化 方針5 … 次代を担う多様な人材の育成 方針6 … 伝統工芸技術の保存・継承 (3) 事 業 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）に加え、男女共同参画・人権政策課、地域包括ケア・誰もが活躍推進本部、中山間地振興課、教育センターが基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

### 3 実施状況等

基本計画は、前項のとおり、計画目標の達成に向けて体系化が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の実施状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の実施状況を捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、6つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、6つの方針の中に位置付けられた各事業に関する実施状況をもとに、方針ごとの実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する実施状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画全体の実施状況を包括的に評価しています。

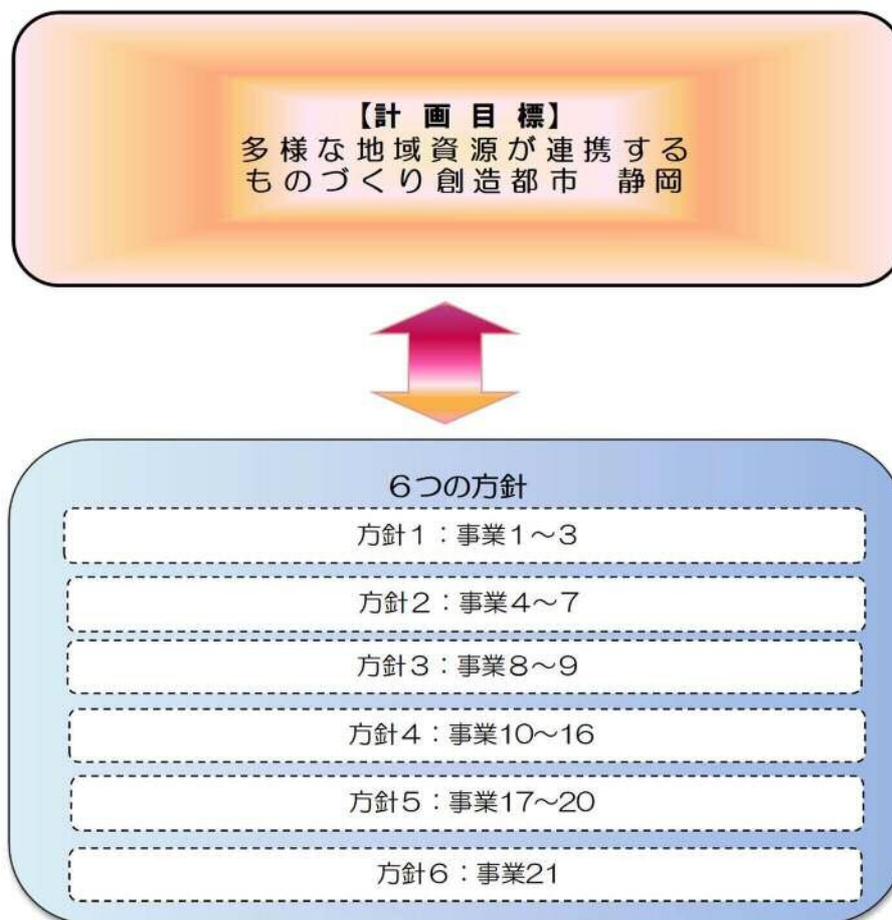


図1 基本計画体系図

各重点項目及び方針の実施状況を把握するため、各種事業の成果目標に対する達成状況等について、表1のとおり評価しています。なお、数値目標を設けている事業については、事務事業総点検表の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施し、数値目標を設けていない事業については、「※」として区分しています。

事業評価	成果目標に対する達成状況等
S	期待を上回る（105%以上）
A	期待どおり（90%以上 105%未満）
B	期待を下回る（70%以上 90%未満）
C	期待を顕著に下回る（70%未満）
※	数値目標を設けていない

表1 成果目標に対する各種事業の達成状況等

その後、各種事業の成果目標に対する達成状況等を方針ごとに取りまとめ、方針別の実施状況について表2のとおり評価しています。

方針別評価	方針別実施状況の評価
◎	期待を上回る（S+Aの割合が90%以上 100%以下）
○	期待どおり（S+Aの割合が70%以上 90%未満）
△	期待を下回る（S+Aの割合が50%以上 70%未満）
×	期待を顕著に下回る（S+Aの割合が50%未満）

表2 方針別実施状況の評価

(1) 方針ごとの実施状況

①方針1 企業の誘致と留置の推進

方針1については、表3のとおり、数値目標を設定している2事業2項目のうち「S」評価が1項目、「B」評価が1項目となったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。

事業1の「企業立地の推進」については、市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努め、令和4年度は、テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、情報発信等で県や東京事務所と連携することで、首都圏からの企業誘致に成功し、新規企業立地の年間目標件数17件に対し、19件の立地に成功しました。引き続き、企業へのヒアリングを基に、ニーズに合わせた助成制度へと見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施していきます。

また、事業3－(1)の「「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援」については、令和2年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の5分野の業種を対象に、上記事業計画の承認により市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、引き続き、新たな設備投資を計画している企業に対し、同計画の作成を促しました。承認件数は目標の10件に対して7件の認定となったことから、企業訪問等において、設備投資や新規立地を計画している企業に対して、本制度のみならず、金融機関等の支援施策と併せて制度説明を行う等により、新規案件の発掘に努めていきます。一方、「地域未来投資促進税制」の活用に必要な課税特例のための先進性確認申請件数は、前年の6件から9件に拡大し、これまでの承認企業により制度が着実に活用されています。

方針・事業	成果指標	令和4年度 事業結果	事業評価
<b>方針(1) 企業の誘致と留置の推進</b>			
<b>事業1 企業立地の推進</b>	新規企業立地件数 17件	19件 (達成率：111%)	S
<b>事業2 恩田原・片山土地区画整理事業 ★</b>	組合、コーディネーターと連携 した企業立地の推進	－	※
<b>事業3 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 ★</b>			
(1) 「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援	地域経済牽引事業計画承認 件数：10件	7件 (達成率：70%)	B
(2) 「重点促進区域」の開発の実現化	開発の実現に向けた関係 部局との協議・調整	－	※

表3 方針1の実施状況等

## ②方針2 新市場・販路開拓に対する支援

方針2については、表4のとおり、数値目標を設定している4事業8項目のうち、「S」評価が3項目、「A」評価が3項目。「C」評価が2項目となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業4の「全国規模等の見本市への出展助成等」については、市内中小製造事業者が全国的な規模の展示会や見本市に出展する際の小間料等を支援する「大規模展示会出展等事業補助金」による補助と、大規模な集客が見込まれる日本最大級の機械要素・加工技術を集めた専門技術展示会である「第26回 機械要素技術展（幕張メッセ）」に静岡市ブースを設け、市内製造事業者と共同で出展を行う「大規模展示会共同出展事業」に取り組みました。

「大規模展示会出展等事業補助金」については、主に金融機関を通じ制度の周知を実施、補助金の利用企業が目的意識を持ち各社出展を行ったことで目標とした「商談に進んだ割合」はおおむね達成することができました。アフターコロナに向け主要課題である販路開拓や新商品開発に対する企業の意識が高まっていることから、令和5年度からは、入り口である新商品開発から、出口である販路開拓までを総合的に支援する新制度を開始し、企業のニーズに応じてまいります。

「大規模展示会共同出展事業」については、令和4年6月に開催された「第27回機械要素技術展」に静岡市ブースを出展し、市内中小製造事業者7社と共同出展を行いました。目標とした「商談に進んだ割合」は達成することができませんでしたが、この要因としては、新型コロナウイルスの影響も少なくなったことで展示会そのもの及び静岡市ブースへの来場者数が大幅に増加し、共同出展企業の名刺交換数もこれに比例して大幅に増加したことに伴うものであります。これまで、当事業を通じて新規商談が成約になった事例もあるなど、企業からは、多くのバイヤーと接点を持てたり、技術のトレンドに接することができたりする貴重な機会として参加事業者からは高い評価を得ています。令和5年度においては引き続き「第28回機械要素技術展（令和5年6月・東京ビッグサイト）」に出展し、市内企業の販路開拓支援を継続しています。

事業6－（2）の「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援については、これまでの「春の市」「秋の市」に加え、静岡浅間神社において行われた「太神楽祭」に参加し「冬の市」を開催しました。「オクシズマルシェ」や「さわやかウォーキング」が同時開催され、また、「大河ドラマ館」がオープンしていたことや好天が重なったこともあり、目標とした来場者数を達成することができました。定期的なイベントとして認知されるよう、今後も事業を継続していく必要がありますが、PRが不足している点が課題です。令和4年度はデザインを変更した結果一定の効果があったと見受けられますが、事前のイベント周知については十分に行えなかったことから、令和5年度以降の課題として取り組んでまいります。

方針（２）新市場・販路開拓に対する支援			
<b>事業4</b> 全国規模等の見本市への出展助成等	商談に進んだ割合（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合） 大規模展示会出展等事業補助金①10.7% 大規模展示会共同出展事業②11%	①9.8% （達成率：91.6%） ②4.3% （達成率：39%）	①A ②C
<b>事業5</b> 首都圏におけるプロモーション強化			
(1) アンテナショップ開設事業 ★	令和3年度に終了	—	※
(2) ホビ—産業育成支援事業	「ホビ—のまち静岡」の認知度 30%	83.8% （達成率：279%）	S
(3) 伝統工芸品等の展示販売会	静岡市特産品東京展示会での売上 4,415千円	4,000千円 （達成率：90.6%）	A
<b>事業6</b> 地場産品の販路開拓・販売促進			
(1) 駿府楽市によるPR・販売促進支援	駿府楽市での工芸品の年間売上金額 31,500千円	40,770千円 （達成率：129%）	S
(2) 「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 ★	来場者数 4,000人（春・秋） 2,000人（冬）	春の市10,000人 （達成率：250%） 秋の市2,650人 （達成率：66%） 冬の市2,000人 （達成率：100%）	S
(3) 「産業フェアしずおか」開催補助金	来場者数 32,000人	14,500人 （達成率：45%）	C
<b>事業7</b> 中小企業の海外展開に対する支援			
(1) 国際食品見本市の出展等による支援 ★	商談実施件数 36件	38件 （達成率：106%）	S
(2) 海外で開催される見本市への出展助成等	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-%	— （新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、海外展示会に出展する企業はなかった）	※

注）★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業

表4 方針2の実施状況等

### ③方針3 新製品・技術開発等に対する支援

方針3については、表5のとおり、数値目標を設定している2事業4項目のうち、事業評価が「A」となった事業が2項目、「B」となった事業が2項目であったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。

事業8－（2）の「デザイナー等とのコラボレーションに対する支援」では、「ニューウェーブしずおか創造事業」を実施しました。地元の意欲的地場産業者が参加、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、PRツール等を作成しつつHP等で告知し、「東京インターナショナルギフトショー」に出展し販路開拓を行いました。開発点数は開発内容により大きく左右される部分も大きく、開発は十分に実施されていると捉えていますが、今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要があると考えています。

事業9の「産業財産権出願に対する助成」については、静岡県発明協会や市内の弁理士と連携し、12件の技術保護に対するニーズに対応することができました。知的財産権の保護や活用により、新たな付加価値の創出につなげるのみならず、産業財産権出願が他社への牽制にもなることから、市内企業の競争力強化のため周知をより強化し、当制度の更なる認知度向上、活用を推進してまいります。

また令和4年度中は、外国出願に対する問い合わせはなかったものの、企業のニーズを掴んだ場合には、外国出願に対する支援メニューを保有する日本貿易振興機構静岡情報センター（JETRO静岡）と連携を図っていきます。

方針・事業	成果指標	令和4年度 事業結果	事業評価
<b>方針（3）新製品・技術開発等に対する支援</b>			
<b>事業8 新商品開発等に対する支援</b>			
(1) 新商品開発等に対する助成	新商品等開発支援件数 7件	6件 (達成率：86%)	B
(2) デザイナー等とのコラボレーションに対する支援	ニューウェーブしずおか創造 事業 開発点数30件	22点 (達成率：73%)	B
(3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施	プロジェクト参加企業数 6社	6社 (達成率：100%)	A
<b>事業9 産業財産権出願に対する助成</b>	産業財産権出願支援件数 13件	12件 (達成率：92%)	A

表5 方針3の実施状況等

#### ④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化

方針4については、表6のとおり、数値目標を設定している7事業16項目のうち、事業評価「S」が9項目、「A」が1項目、「B」が2項目、「C」が4項目であったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」と評価しています。

事業10-（1）「事業高度化機械設備設置事業補助金」は、中小製造事業者に対して、生産性の向上を目的とする機械設備の設置費用に対して助成を行うことで、地域の産業の活性化及び高度化を図るものです。金融機関や支援団体等を通じて制度の周知を実施、申請手続きの支援を行うとともに課題のヒアリングも実施し、本補助金以外の支援にもつなげられるよう取り組みました。令和4年度は目標件数を下回りましたが、物価高騰の影響に加え、世界的な半導体不足などにより機械設備の納入時期の見通しが立たないことから市内企業が設備投資に慎重であったと考えられます。しかしながら、生産性向上に対する企業ニーズは引き続き高いことから、定期的に企業から直接情報収集する等により、設備投資ニーズの掘り起こしを行ってまいります。

事業10-（4）「IT技術の活用・促進に関する検討」については、静岡商工会議所と連携した「ITなんでも相談窓口」の設置、窓口相談、巡回指導、セミナーの実施等によりIT導入の促進と支援に努めました。支援件数282件は前年を超え、目標である150件を大きく上回りました。DX推進など、デジタル活用に向けた相談ニーズは今後も多く見込まれることから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていきます。

事業15-（1）の「「ホビーのまち静岡」推進事業」は、本市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図るものです。ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業（静岡ホビースクエアの運営等）に対し、補助金を交付しました。「ホビーのまち静岡」の認知度は現状、目標を上回っておりますが、引き続き、ホビー推進協議会静岡と連携し、内容、時期及び対象を見極め、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいきます。

事業16の「地場産品の情報発信・愛用促進」については、JR静岡駅構内の駿府楽市と、郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行うものです。駿府楽市での年間売上金額、駿府匠宿での創作体験の体験者数、利用者満足度のいずれも目標を上回りました。駿府楽市での売り上げについては目標を上回ったものの、コロナ禍以前を下回っていることから、デジタルサイネージの導入や展示コーナーの改修等により購買環境改善を行っていく必要があります。駿府匠宿については、指定管理者の創意工夫により、創作体験の改善、SNSを活用した広報戦略などが功を奏しました。令和5年度からは新規の創作体験として「模型」を取り入れることを予定しており、今後も指定管理者及び地場産業界と連携し、施設の更なる魅力向上を図っていきます。

方針・事業	成果指標	令和4年度 事業結果	事業評価
<b>方針（4）中小企業の経営基盤・競争力の強化</b>			
<b>事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援</b>			
(1) 事業高度化機械設備設置事業補助金	機械設備設置支援件数 30件	16件 (達成率：53%)	C
(2) 現場改善支援事業 ★	現場改善支援事業所数 8 者	15者 (達成率：188%)	S
(3) 生産性向上特別措置法に係る 先端設備等導入計画の認定 ★	新規認定件数 150件	99件 (達成率：66%)	C
(4) IT技術の活用・促進に関する検討 ★	IT導入に関する支援件数 150件	282件 (達成率：188%)	S
<b>事業11 事業承継に対する支援 ★</b>	専門家派遣を通じた事業 承継に関する支援件数 80件	14件 (達成率：18%)	C
<b>事業12 中小企業融資制度による支援</b>	制度融資申込件数 700件	1,016件 (達成率：145%)	S
<b>事業13 企業OB人材等の活用 ★</b>	マッチング率（参加企業のうち、 人材の支援を受け入れた企業の割合） 50%	35.7% (達成率：71%)	B
<b>事業14 中小企業等の表彰事業</b>			
(1) CSR活動表彰事業	企業表彰件数 4 件	2 件 (達成率：50%)	C
(2) 中小企業者技術表彰事業	受賞事業者が広報された件数 3 件	4 件 (達成率：133%)	S
(3) 多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 ★	表彰企業数 5 件	4 件 (達成率：80%)	B

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに登載された事業

表6 方針4の実施状況等（次項に続く）

方針・事業	成果指標	令和4年度 事業結果	事業評価
<b>方針(4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化</b>			
<b>事業15 本市に根ざした産業のブランド化</b>			
(1) 「ホビーのまち静岡」推進事業	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%	83.8% (達成率：279%)	S
(2) 地域産業振興ブランド認証事業	展示販売会等実施回数 6回	6回 (達成率：100%)	A
(3) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 ★	漆植樹面積 0.36ha	0.47ha (達成率：131%)	S
<b>事業16 地場産品の情報発信・愛用推進</b>	①隣接する駿府楽市での 工芸品の年間売上金額 31,500千円 ②駿府匠宿創作体験者数 者数 19,300人 ③当該施設利用者満足度 92%以上	①40,770千円 (達成率：129%) ②29,513人 (達成率：153%) ③97.8% (達成率：106%)	①S ②S ③S

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業

表6 方針4の実施状況等(前項から続く)

## ⑤方針5 多様な産業人材の確保・育成

方針5では、表7のとおり、数値目標を設定している4事業12項目のうち、「S」評価が2項目、「A」評価が7項目、「B」評価が1項目、「C」評価が2項目となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業17－（2）「ものづくり教育推進事業」については、令和3年度からは「ものづくりキャリア教育推進事業」として子どもたちのものづくりへの関心を高めるとともに、本市に根付いた産業及びその仕事への理解を深めるため、市内小学校に対し、プラモデル等の本市ものづくり産業をテーマにした出前授業を実施しました。結果、授業を受けた児童の大部分にもものづくりについて関心を持ってもらうことができ、ものづくりに興味を持った児童の割合は91%となり、目標を大きく上回ることができました。

実施校からの好評を受け、今後も引き続き、プラモデルをはじめとした静岡市を代表するものづくり産業（缶詰等）について、各学校のキャリア教育ニーズに対応するため、申込校と講師との連携を密にしながら実施していきます。

事業18－（2）「若者の地元就職・U I J ターン就職の促進事業」は、地元就職並びに、U I J ターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組む事業です。令和4年度は、「市内企業への就職関心度」「将来の選択肢が広がった生徒の割合」ともに目標を上回りました。引き続き、早期からのキャリア形成に取り組むとともに、しずまっち等を活用しながら、若者と企業が相互交流できる機会を創出し、市内企業への関心を高められるよう取り組んでまいります。

事業19「若手職人の育成事業」は、地場産業界の後継者確保・育成及び新規就業者の定着を図るため、「クラフトマンサポート事業」として財政的な支援を行いました。令和4年度は現場実習短期支援において3名の支援を開始し、うち2名が現場実習長期支援事業に移行し、計4名が現場実習長期支援事業を利用することで目標を上回りました。そのほか、現場実習長期支援事業を修了した者を雇用した事業主に対して交付する「雇用奨励金」を2名、新たに職人として独立した者を対象に建物の賃借料等を補助する「独立支援補助金交付事業」を3名が継続利用しており、それぞれ事業の利用により順調に経営が続いています。現場実習長期支援事業については実習者の途中挫折を減らすためのフォローが必要と考えており、実習者と指導者それぞれに対して個別的な対応を行ってまいります。また、当事業の設計から20年以上経過しています。雇用奨励金については令和4年度に見直しを行った結果利用者が増加し、若手職人の業界定着を図ることができたことから、他の制度についても見直しを検討してまいります。

方針・事業	成果指標	令和4年度 事業結果	事業評価
<b>方針(5) 多様な産業人材の確保・育成</b>			
<b>事業17 ものづくり体験・学習機会の提供</b>			
(1) 駿府匠宿での地場産品体験学習事業	申込児童数 3,250人	2,207人 (達成率：68%)	C
(2) ものづくり教育推進事業 ★	ものづくりに興味を持った児童 60%	91.1% (達成率：152%)	S
(3) こどもクリエイティブタウンでの職場体験等	年間利用者数 100,000人	21,553人 (達成率：22%)	C
(4) プログラミング教育推進事業 ★	—	中学校技術・家庭科(技術分野)において、情報技術の「継続と制御の技術」について学ぶ研修を1回実施。	※
<b>事業18 多様な人材の就労に対する支援</b>			
(1) 若者の就労支援事業 ★	親と若者の就労支援セミナー 参加者満足度93%	93.2% (達成率：100%)	A
(2) 若者の地元就職・UIJターン就職の促進事業 ★	①市内企業への就職関心度95% ②将来の選択肢が広がった生徒の割合96%	①95.0% (達成率：100%) ②97.8% (達成率：102%)	①A ②A
(3) 企業OB人材の活用【再掲】 ★	マッチング率(参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合) 50%	35.7% (達成率：71%)	B
(4) 高齢者就労促進事業 ★	高齢求職者の雇用・就業数 160人	287人 (達成率：179%)	S
(5) 女性活躍ブランド認証事業 ★	—	認定件数3件	※
(6) 首都圏の女子学生を対象とした就労支援 ★	就職関心度 90%以上	100% (達成率：100%)	A
(7) 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 ★	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上	100% (達成率：125%)	A
<b>事業19 若手職人の育成事業</b>	長期支援利用者数 4人	4人 (達成率：100%)	A
<b>事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進【再掲】 ★</b>	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上	100% (達成率：125%)	A

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業

表7 方針5の実施状況等

## ⑥方針6 伝統工芸技術の保存・継承

方針6では、表8のとおり、数値目標を設定している1事業5項目について、「S」評価が1項目、「A」評価が3項目、「C」評価が1項目となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業21－（1）「伝統工芸技術アーカイブス事業」は、熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術に対する保存・継承の取り組みとして、消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図る事業です。令和4年度は木彫刻の技術を保持する職人の、技術工程の映像を制作しました。

各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていくとともに、技術保持者の健康状態は今後も確実とはいえないため、期間を置かず確実に保存を図っていく必要があります。一方で、アーカイブ技術は各職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、技術保持者との協議もしっかりと行う必要があります。

事業21－（4）「オクシズ「漆-japan-の里」構想事業」は、中山間地「オクシズ」への漆の木植林、漆職人の育成等により地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化と伝統工芸技術の継承を図るものです。令和4年度は目標面積を上回る漆の植樹を実施したほか、「オクシズ『漆の里』協議会」により、調査事業として漆の成分分析、付加価値向上事業として商品開発等に取り組みました。引き続き、市内産漆の地産地消体制の構築を目指し、協議会の各種事業を計画的に展開していくとともに、事業のブランド化を図ることで市民や民間企業等の理解を深め、事業継続のための資金確保、体制作りにつなげてまいります。

方針・事業	成果指標	令和4年度 事業結果	事業評価
<b>方針（6）伝統工芸技術の保存・継承</b>			
<b>事業21</b>			
<b>伝統工芸技術の保存・継承</b>			
(1) 伝統工芸技術アーカイブス事業 ★	映像化本数 1本	1本 (達成率：100%)	A
(2) 伝統工芸保存講習会の開催	①開催部門 5部門 ②参加者数 38名	①5部門 (達成率：100%) ②37名 (達成率：97%)	①A ②A
(3) 伝統工芸技術秀士の顕彰	秀士の指定者数 1名	0名 (達成率：0%)	C
(4) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 ★	漆植樹面積 0.36ha	0.47ha (達成率：131%)	S
(5) 地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 ★	令和3年度に終了	-	※

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業

表8 方針6の実施状況等

### (3) 基本計画実施状況の総括

第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画については、平成31年度からの4か年計画として、令和4年度をもって計画期間を修了しました。

令和4年度の第3次ものづくり産業振興基本計画登載事業の実施状況については、表9のとおり、6つの方針のうち3つの方針において「○（期待どおり）」の評価となりました。また、計画期間4か年を通じた、登載事業に占めるS評価及びA評価となった事業の割合は平均72.7%となり、計画期間を通じて「期待どおり」であったと捉えることができると考えております。

さらに本計画の目標は「計画最終年度（令和4年度）末時点の製造品出荷額等 2兆円」と設定していますが、「2022年経済構造実態調査 製造業事業所調査」の本市における製造品出荷額等の上位5分類は「電気機械器具製造業（対前年比1.1%増）」「食料品製造業（同23.3%増）」「化学工業（17.4%増）」「非鉄金属製造業（同34.7%増）」「はん用機械器具製造業（同4.4%増）」であり、全体の製品出荷額等は2兆2,375億円と当計画の目標値を達成する結果となりました（増加率は「2021年経済センサス活動調査・産業別集計」と「2022年経済構造実態調査 製造業事業所調査」を比較）。

以上から、第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画は、計画期間中に新型コロナウイルス感染症等突発的な事象に見舞われたものの、目標を果たすことができたかと捉えています。

令和5年度からは「第4次静岡市ものづくり産業振興基本計画」がスタートします。計画の目標を「持続的な成長を続けるものづくり創造都市 静岡」と掲げ、2つの政策「モノを創るコトづくり」「モノを創るヒトづくり」のもと、5つの施策とこれに紐づく各事業により、多様化する社会経済問題、事業の高付加価値化による競争力の強化、次世代を担う人材の確保といった課題に向き合い、8か年計画により、本市のものづくり産業の振興を図ってまいります。

方針	事業評価	該当事業数	事業評価の割合	「期待どおり」(S+A)以上の事業の割合	実施状況の評価
方針1	S	1	50.0%	50%	△
	A	0	0.0%		
	B	1	50.0%		
	C	0	0.0%		
	※	2			
方針2	S	4	50.0%	75%	○
	A	2	25.0%		
	B	0	0.0%		
	C	2	25.0%		
	※	2			
方針3	S	0	0.0%	50%	△
	A	2	50.0%		
	B	2	50.0%		
	C	0	0.0%		
	※	0			
方針4	S	9	56.3%	63%	△
	A	1	6.3%		
	B	2	12.5%		
	C	4	25.0%		
	※	0			
方針5	S	2	16.7%	75%	○
	A	7	58.3%		
	B	1	8.3%		
	C	2	16.7%		
	※	2			
方針6	S	1	20.0%	80%	○
	A	3	60.0%		
	B	0	0.0%		
	C	1	20.0%		
	※	1			
方針別実施状況の評価	S+Aの割合が	■90%以上 : ◎ (期待を上回る) ■70%以上90%未満 : ○ (期待どおり) ■50%以上70%未満 : △ (期待を下回る) ■50%未満 : × (期待を顕著に下回る)			

表9 方針別実施状況の評価

評価区分	該当事業数	数値目標のある事業に占める割合	左記のうち「期待どおり」(S+A)となった事業の割合
S	17	36%	68.1%
A	15	32%	
B	6	13%	
C	9	19%	
※	7		
計	54		

表 10 評価区分別の事業数の割合等

評価区分	年度				「期待どおり」(S+A)となった事業の割合	計画期間を通じ「期待どおり」(S+A)となった事業の割合
	H31	R2	R3	R4		
S	16	13	19	17	35.5%	72.7%
A	21	14	18	15	37.2%	
B	6	4	2	6	9.8%	
C	7	9	7	9	17.5%	
※	8	14	9	7		
計	221					

表 11 年度別の評価区分別事業数の割合

(添付資料)

各事業の実施状況管理個票

(P18~66)

## 4 各事業の実施状況管理個票

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度	
事業名	事業１ 企業立地の推進	予算額	492,000 千円		
		決算額	427,610 千円		
事業概要	<p>地域の産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図るため、本市の特性を活かした「清水港・ロジスティクス」などの戦略産業の集積や、地方創生の一環である企業の本社機能の移転等による、企業の誘致と留置を推進します。</p> <p>具体的には、工場等の設置に係る用地取得費や設備投資費や事務所の賃借に対する助成を行うほか、本市の立地優位性や利便性、優遇施策等についての情報発信・PR活動を、東京事務所と連携して実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>令和4年度は、テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、情報発信や企業訪問等で県や東京事務所と連携し、首都圏からの企業誘致に成功した。</p> <p>引き続き、企業へのヒアリングを基に、ニーズに合わせた助成制度へと見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規企業立地件数 19件</li> <li>・市内企業訪問 183件</li> <li>・市外企業訪問 129件</li> <li>・企業立地相談件数 317件</li> </ul>	
成果目標	新規企業立地件数 17件				
1	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	新規企業立地件数 17件	19件 (達成率：111%)
	産業振興プラン位置付け	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>コロナ禍により減少していた企業の設備投資意欲も復調しているため、企業訪問等により企業ニーズを把握し工場の立地につなげていく。首都圏企業誘致においては、企業が特に不安視する人材確保のサポート体制を整備し、経済状況等に応じた助成制度の見直しを検討していく。</p>	
		施策 企業の誘致と留置の推進			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度		
	事業名	事業２ 恩田原・片山土地区画整理事業		予算額	- 千円	
				決算額	- 千円	
	事業概要	東名新スマートＩＣの効果を最大限に生かすため、大谷・小鹿ランドデザインで「工業・物流エリア」に位置付けられた恩田原・片山地区において区画整理手法による都市基盤整備を進め、産業集積方針に基づく企業立地を推進します。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 進出企業の誘致活動</li> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画していた進出企業の決定に影響が生じたものの、事業コーディネータと連携した企業誘致活動を実施することで企業コースを捉え企業立地の実現を推進した。</li> <li>・令和５年３月末時点で、産業系用途の全13区画中７区画がすでに契約を済ませている。</li> <li>■ 補助制度の整備</li> <li>・産業集積方針に基づく企業の立地を誘導するため、恩田原・片山地区に特化した新たな企業立地補助金制度要綱を制定した。（要綱の施行については、R5年度を予定）</li> <li>■ 局間連携による事業推進</li> <li>・進出企業の誘致活動に併せて、用地の創出が着実に進むよう、都市局が土地区画整理事業の進捗管理等を実施し、局間連携による企業立地実現を推進した。</li> </ul>	
	成果目標	組合、コーディネーターと連携した企業立地の推進				
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流		進捗率等	R5.3.31 現在
		政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します		事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進出を希望する企業がある区画については、着実に立地を実現するために、事業コーディネーターに対して、早期に用地契約の手続きを進めるよう働きかける。</li> <li>・その他の区画については、引き続き事業コーディネーターとの情報交換や用地の情報発信、企業の立地コースの掘り起こしを行い、産業集積方針に沿った企業立地実現を推進する。</li> </ul>
		施策	企業の誘致と留置の推進			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興プラン位置付け	政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します		事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進出を希望する企業がある区画については、着実に立地を実現するために、事業コーディネーターに対して、早期に用地契約の手続きを進めるよう働きかける。</li> <li>・その他の区画については、引き続き事業コーディネーターとの情報交換や用地の情報発信、企業の立地コースの掘り起こしを行い、産業集積方針に沿った企業立地実現を推進する。</li> </ul>
施策		企業の誘致と留置の推進				
担当課等		経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)		

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度	
事業名	事業３ 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （１）「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援	予算額			- 千円
		決算額			- 千円
事業概要	(1)地域未来投資促進法「地域基本計画」に沿って承認した、地域特性を活かして、付加価値の高い事業に取り組む「地域経済牽引事業」のうち、工場建設などの立地が伴う案件に対して、設備投資に係る課税の特例措置や、金融機関の低利融資制度などの優遇制度を活用して、効果的に企業立地を支援します。	取組状況	事業結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>■「地域経済牽引事業計画」承認件数 「静岡市地域基本計画」に基づく承認件数：０件 「静岡市戦略産業等支援強化地域基本計画」に基づく承認件数：７件</li> <li>■「地域未来投資促進税制」の活用 ・課税特例のための先進性確認申請件数：９件</li> <li>■「地域経済牽引事業」の案件発掘 ・令和２年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の５分野の業種を対象に、上記事業計画の承認により市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、新たな設備投資を計画している企業に対し、同計画の作成を促した。 ・加えて、地域経済牽引事業計画を作成する企業に対しては、個別に作成支援を実施した。</li> </ul>
成果目標	地域経済牽引事業計画承認件数：１０件				
3 総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 5. 3. 31 現在	地域経済牽引事業計画承認件数：１０件 7件 (達成率：70%)
	政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標の件数を満たさない結果となったことから、企業訪問等で、設備投資や新規立地を計画している企業に対して個別に制度説明を行い、より一層、新規案件の発掘に注力していく。</li> <li>・計画作成相談を受けた企業に対して、個別に企業訪問等を行い企業と直接対話をしながら作成支援を行う等、きめ細やかな対応を実施する。</li> <li>・地域基本計画に基づき共同して支援する立場にある支援機関の優遇制度なども、積極的に企業に紹介するなどのマッチングを行う。</li> </ul>
	施策	企業の誘致を留置の推進			
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	施策	企業の誘致を留置の推進			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)			

事業 3	ものづくり 基本計画	方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和４年度		
	事業名	事業３ 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （２）「重点促進区域」の開発の実現化	予算額	- 千円		
			決算額	- 千円		
	事業概要	（２）企業立地の受け皿となる用地確保のための取組として、地域基本計画の中で、重点的に地域経済牽引事業の促進を図る「重点促進区域」に位置付けた開発候補地に対して、規制の特例措置の活用や開発に向けた関係部署との協議・調整などを実施し、開発の実現化を図ります。	取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 進出検討企業の発掘 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市及び県HPで用地情報を公開し、PRを行った。</li> <li>・進出を希望する企業ニーズの掘り起こしを実施した。</li> </ul> </li> <li>■ 地域未来投資促進法に基づく支援制度の周知 <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問等で、設備投資にかかる補助金や立地の相談があった際に、地域未来投資促進法に基づく各種支援制度の説明・周知を行った</li> </ul> </li> <li>■ 開発に係る関係部署との協議・調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部署を集めての合同会議や個別の打合せを実施し、開発に当たっての課題抽出や解決手法等の検討を進めた。</li> </ul> </li> </ul>	
	成果目標					開発の実現に向けた関係部局との協議・調整
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗 率等	R 5. 3 .31 現在	開発の実現に向けた関係部 局との協議・調整
		政策 位置付け (分野別)	次代を担う本市を代表する産業を生 み出します	事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別説明やチラシの配布、ホームページ等への掲載による用地情報や、開発に係る新基準の積極的な情報発信により、進出を検討する企業ニーズの掘り起こしを引き続き実施する。</li> <li>・企業訪問等で、設備投資や立地ニーズの高い企業に対し、積極的にアプローチを図る。</li> <li>・企業の進出が具体化した案件については、開発許可に向け関係部署との協議・調整を実施し、開発の実現化を図る。</li> </ul>
施策	企業の誘致と留置の推進					
産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流				
	政策	次代を担う本市を代表する産業を生 み出します				
	施策	企業の誘致と留置の推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（２）新市場、販路開拓に対する支援		令和４年度	
事業名	事業４ 全国規模等の見本市への出展助成等	予算額	8,400 千円		
		決算額	8,315 千円		
事業概要	<p>中小製造事業者の販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、全国的な規模の展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。</p> <p>また、「ものづくり産業が盛んなまち」として本市の存在感を高めるため、本市経済を支える基盤産業及び本市を牽引していく可能性を秘めた戦略産業に該当する企業と共同で国内最大の展示会である「機械要素技術展」に出展し、本市ものづくり産業のPR及び市内企業の販路開拓支援を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>①大規模展示会出展等事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■申請件数：42件</li> <li>名刺交換数（確認できたもの）6,509件</li> <li>商談に進んだ件数 636件</li> <li>■新型コロナウイルスの影響により、海外展示会への出展を行った企業はなし。</li> <li>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</li> </ul> <p>②大規模展示会共同出展事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■出展展示会：第27回機械要素技術展</li> <li>■会期：令和４年６月22日～24日</li> <li>■共同出展社数：7社</li> </ul>	
成果目標	商談に進んだ割合（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①10.7% ②11%				
4	総合計画の位置付け（分野別）	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	<p>商談に進んだ割合（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①10.7% ②11%</p> <p>①9.8% (達成率：91.6%) ②4.3% (達成率：39.1%)</p>	
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>① 令和５年度からは新商品開発の先にある販路開拓まで総合的に支援する新制度を開始する。アフターコロナに向け、主要課題である新商品開発や販路開拓に対する企業の意欲は更に高まっているため、金融機関等の支援機関への周知を実施し、市内企業の新制度への認知度向上を図る。</p> <p>② 今回商談に進んだ割合は目標を下回ったが、これは新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少していた市ブースへの来場者数が増加し、名刺交換数が前年度比３倍以上になったことが原因と推察できる。</p> <p>当事業において販路開拓の機会は展示会の会期期間に限られるが、当事業によって新規商談が成約となった事例もあり、企業からは貴重な販路開拓の機会であるとの声を得ている。この機を逃すことなく有効に活用してもらうため、今後も時宜を得た情報提供を行うなどして、企業が商談しやすい環境づくりに努める。</p>	
	施策	新市場・販路開拓に対する支援			
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流				
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	新市場・販路開拓に対する支援			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （１）アンテナショップ開設事業	予算額	- 千円		
			決算額	- 千円		
	事業概要	本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。  (1)アンテナショップ開設事業 しずおか中部５市２町中核連携都市圏事業として首都圏にアンテナショップを開設し、特産品等をPRするとともに、テストマーケティングの場として販路開拓支援を行います。	取組状況	事業結果	令和３年度に終了	
	成果目標	0				
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企画係	その他(特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （２）ホビー産業育成支援事業		予算額	2,655 千円	
				決算額	2,571 千円	
	事業概要	本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。  (2)ホビー産業育成支援事業 本市が全国に誇るホビー産業を戦略産業として選定し、「ホビーのまち静岡」の認知度向上を図るため、首都圏にてプロモーションイベントを開催します。	取組状況	事業結果	クリスマスフェスタのPRに「しずチカ」を活用し、模型業界・出展者と連携し、「クリスマスフェスタ」「ホビーのまち静岡」のPR展示を行った。 昨年度に引き続き、市内観光施設にて業界と連携して模型の世界首都静岡と静岡ホビーショーのPRイベントを開催した。 「模型の世界首都・静岡」パンフレットを6000部印刷した	
	成果目標	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%				
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野 観光・交流	進捗率等 R5.3.31 現在	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%	83.8% (達成率：279%)
			政策 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	引き続き、模型関係団体や模型メーカーの協力を得て、内容、時期及び対象を見極め、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいく。	
施策 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり						
産業振興プラン位置付け	分野 観光・交流	政策 静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	引き続き、模型関係団体や模型メーカーの協力を得て、内容、時期及び対象を見極め、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいく。		
		施策 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 プラモデル振興係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度			
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （３）伝統工芸品等の展示販売会		予算額	5,411千円		
				決算額	5,345千円		
	事業概要	<p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(3)伝統工芸品等の展示販売会 本市伝統工芸品等のPRや販路開拓支援、消費者ニーズの把握等を目的とし、都内（御徒町の「2k540」やJR新宿駅西口広場等）で展示販売会を開催します。また、本市が直接出展する全国規模の見本市等(首都圏以外も含む)においても積極的に伝統工芸品のPRに努め、販路開拓の支援に努めます。</p>		取組状況	事業結果	<p>■静岡市特産品東京展示会（新宿西口） 開催日程：令和４年10月18日（火）～20日（木） （３日間） 出展者：地元伝統工芸等会場産業従事者等25者 出展内容：木製家具、小木製品、漆器、和染、下駄等</p>	
	成果目標	(新宿展) 売上金額 4,415千円（コロナ禍であることを踏まえてR1年度目標比80%で策定）					
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	(新宿展) 売上金額 4,415千円（コロナ禍であることを踏まえてR1年度目標比80%で策定） 4,000千円 (達成率：90.6%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■コロナウイルスが落ち着き3年ぶりの開催となった。静岡の地場産品を多くの人に知ってもらう良い契機となった。コロナも関係してか、令和元年は10500人であった来場者も8500人程度に減ってしまったので、通りがかった人にかたしてイベントの存在を知ってもらうかが大事になる。また来場者の多くが60代以上で若年層の来場が少ない。若年層にも広げていくためにSNS等を活用するなど広報手段の再検討も必要となる。</p>		
分野	商工・物流						
産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業６ 地場産品の販路開拓・販売促進 (1)駿府楽市によるP R・販売促進支援		予算額	22,677千円	
				決算額	22,201千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(1)駿府楽市によるP R・販売促進支援 JR静岡駅構内に立地する駿府楽市で、本市地場産品を市民や来静者へP Rし、地場産品の愛用促進と販路開拓を押し進めます。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>■JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間27回の展示会を開催した。 ・R4来場者数：294,200人 ・隣接する駿府楽市での工芸品のR4年間売上金額：40,770千円</p> <p>■静岡市特産品展示コーナーに係る運営業務委託、空調保守、清掃、玄関マット賃借の実施</p>	
	成果目標	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 31,500千円				
	6	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在
政策			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	当初目標の売上金額を大幅に上回ることができたが、コロナ禍以前と比較すると、回復できていない。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するとともに、デジタルサイネージの導入や展示コーナーの改修を実施していく必要がある。	
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流				
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業 6	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業6 地場産品の販路開拓・販売促進 (2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進 支援	予算額	3,464 千円		
			決算額	3,816 千円		
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 多くの市民が行き交う青葉シンボルロードにおいて、職人自らが実演販売・展示販売を行うことで、多くの市民の目に触れる機会を創出し、本市の優れた伝統工芸品に対する市民の誇りと愛情を醸成します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■新型コロナウイルスの影響が前年度よりも減少したが、折込チラシ数を増加したこと、ワークショップを充実させたことなどが功を奏し、GW最終日で天気が良かったことも重なり、春の市では目標を大幅に上回る来場者数を達成した。秋の市では、周辺の人通りが少なかったこともあり目標を下回る結果となった。 来場者数：春の市10,000人、秋の市2,650人 冬の市2,000人</p> <p>■来場者には、工芸品が身近に安く買えるイベントとして定着しており、リピーターの割合が高かった。</p> <p>■初めて出展した大神楽祭は、「オクシズマルシェ」のほか「さわやかウォーキング」の開催、神社境内に開設された「大河ドラマ館」「同ギフトショップ」に好天が重なり、人通りは多かった。そのため、目標の来場者数を達成することが出来た。しかし来年度以降、大河ドラマ館やほかのイベントがなかった場合、雨が降った場合出展ができないため、次年度以降開催可否を含めて検討が必要となる。</p>	
	成果目標	来場者数 4,000人（春・秋） 2,000人（冬）				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	来場者数 4,000人（春・秋） 2,000人（冬）	春の市10,000人（達成率：250%） 秋の市2,650人（達成率：66%） 冬の市2,000人（達成率：100%）
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興 プラン 位置付け	施策	新市場・販路開拓に対する支援	事業 評価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等		新型コロナウイルスの影響下でも、定着的なイベントとして認識されるよう、コンスタントに事業を継続していく必要がある。また、PR要素が不足しているとの課題があり、看板などの製作を進めた結果スタイリッシュなデザインとなり、一定の効果があったと見受けられる。事前にイベントを周知する必要があったが、思うように周知ができておらず、今後の課題である。
		分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係	その他 (特記事項)				

事業 6	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度		
	事業名	事業６ 地場産品の販路開拓・販売促進 (3)「産業フェアしずおか」開催補助金		予算額	14,550 千円	
				決算額	14,550 千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(3)「産業フェアしずおか」開催補助金 産業フェアしずおかの開催に対して助成することで、伝統工芸品の良さを再認識してもらい、「買ってもらい（販売促進）」、「販路を拡大」することにより、伝統工芸品を中心に地場産品の振興を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■来場者数：14,500人</p> <p>■コロナ禍での3回目の開催となったが、来場者数は昨年度の半分程度に留まった。徹底した新型コロナウイルス感染症対策のもと産業フェアしずおかを開催したことで、本市の地場産品をPRすることができた。</p>	
	成果目標	来場者数32,000人				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R5.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策や若者の現金離れを踏まえてキャッシュレス決済の導入や地場産業ゾーンに特化した満足度調査等が必要である。</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度			
	事業名	事業７ 中小企業の海外展開に対する支援 (1)国際食品見本市の出展等による支援		予算額	5,132 千円		
				決算額	5,000 千円		
	事業概要	(1)国際食品見本市の出展等による支援 市内中小企業等の海外展開に際し、国際食品見本市の出展や海外販路を有する国内商社との個別商談会等の開催を通じて、直接輸出、間接輸出の両面から独自で取り組んでいけるよう支援します。		取組状況	事業結果 国際食品見本市に関しては1事業者がエントリーしたものの、審査で不採用となり出店中止。国内商社との個別商談会に関しては、台湾の大手雑貨店及びカフェにてテスト販売、営業代行、オンライン商談を実施した。		
	成果目標	商談実施件数 36件					
	7	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	商談実施件数 36件 38件 (達成率：106%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	R4年度よりテスト販売時に正規通関を通すことで、テスト販売後の継続取引をバイヤーから希望された際に、スムーズに継続取引が可能となった。またオンライン商談や営業代行にて2件商談が成立、その他継続的に商談を行っている事業者が数社。しかし、海外輸出の手続等が全く分からない事業者も多いため、今年度も商談が続いている事業者については営業代行及び、コンサルティングを実施し、商談制約をサポートしていく。		
分野	商工・物流						
産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		施策	新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和４年度				
	事業名	事業７ 中小企業の海外展開に対する支援 (2)海外で開催される見本市への出展助成等		予算額	8,400千円			
				決算額	8,315千円			
	事業概要	(2)海外で開催される見本市への出展助成等 中小製造事業者の海外における販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、海外で開催される展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。		取組状況	事業結果 大規模展示会出展等事業補助金 ■申請件数：42件 ■うち、海外展示会への出展を行った企業数はなし。 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。			
	成果目標	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-%						
	7	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-%	—%
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等	令和４年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で宣言されていた海外渡航の制限等が緩和された部分もあったものの、国内よりも更に費用面等で出展のハードルが高い海外展示会への出展に対しては企業が慎重にならざるをえず、令和２～３年度と同様に海外展示会に出展する企業がなかった。令和５年度以降については、海外渡航に関する制限の状況等を確認しつつ、海外展開に興味を持つ企業に対し、ジェトロ静岡貿易情報センターなどと連携し海外展開に係る支援情報などの情報提供を行っていく。			
分野	商工・物流							
産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他（特記事項）					

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和４年度			
	事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援 (1)新商品開発に対する助成		予算額	3,500 千円		
				決算額	2,895 千円		
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(1)新商品開発に対する助成 中小製造事業者を対象に、新商品等の開発に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の開発意欲の向上や製造業の振興・発展を図ります。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>①開発事業 ■申請件数：2件 ■採択件数：2件</p> <p>②改善事業 ■申請件数：4件 ■採択件数：4件</p> <p>採択企業に対しては、試作品の完成に向け随時フォローアップを行い、全ての事業を年度内に完了することができた。併せて産業財産権出願事業補助金の活用も推進し、企業競争力の強化につなげた。</p>		
	成果目標	新商品等開発支援件数 7件					
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 5. 3 .31 現在	新商品等開発支援件数 7件
政策			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		新製品・技術開発等に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	令和５年度からは新商品開発の先にある販路開拓まで総合的に支援する新制度を開始する。アフターコロナに向け、主要課題である新商品開発や販路開拓に対する企業の意欲は更に高まっているため、金融機関等の支援機関への周知を実施し、市内企業の新制度への認知度向上を図る。		
産業振興プラン位置付け		分野				商工・物流	
政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
施策	新製品・技術開発等に対する支援						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和４年度			
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援		予算額	6,437 千円		
				決算額	6,392 千円		
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とのづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>■ニューウェーブしずおか創造事業 地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、PRツール等を作成しつつHP等で告知し、「東京インターナショナルギフトショー」に出展。販路開拓を実施した。 参加事業者：6者 公募デザイナー：6者 開発点数：22点 展示会開催：1回（東京インターナショナルギフトショー）</p>	
	成果目標	ニューウェーブしずおか創造事業 開発点数30点					
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	<p>ニューウェーブしずおか創造事業 22点 (達成率：73%) 開発点数30点</p>
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新製品・技術開発等に対する支援	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■ニューウェーブしずおか創造事業 開発点数は開発内容により大きく左右されるため開発は充分に実施されている。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>	
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流					
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和４年度				
	事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援 (3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施		予算額	75,917千円の一部			
				決算額	75,917千円の一部			
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援します。</p>		取組状況	事業結果			
	成果目標	プロジェクト参加企業数 6社				<p>【静岡おみやプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト期間 令和元年6月中旬～令和2年3月末</li> <li>・上限枠：6社</li> <li>・マーケティング戦略に基づいた6商品が2月時点で完成。</li> </ul>		
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	プロジェクト参加企業数 6社	6社 (達成率：100%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	参加者が減少しており、テーマなどを改めて継続している必要性がある。
		施策	新製品・技術開発等に対する支援					
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	施策			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和４年度				
	事業名	事業９ 産業財産権出願に対する助成		予算額	1,300千円			
				決算額	1,200千円			
	事業概要	<p>産業財産権の出願に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の技術開発等の意欲向上や産業財産権保護の必要性に対する意識啓発を図ります。</p> <p>また、日本貿易振興機構（JETRO）では海外における知的財産権の保護に関する相談を受け付けているため、市内企業等から相談があった場合には窓口を案内するなど、連携した支援を実施していきます。</p>		取組状況	事業結果	<p>静岡県発明協会や市内の弁理士と連携し、市内中小製造事業者の技術保護に対するニーズに応えることができました。</p> <p>また、外国出願に対する問い合わせは今年度はなかったが、今後問合せがあった場合には、日本貿易振興機構（JETRO）静岡情報センターと連携を図っていく。</p> <p>■特許出願 : 12件</p>		
	成果目標	産業財産権出願支援件数 13件						
	9	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	産業財産権出願支援件数 13件	12件 (達成率：92%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	新商品・技術開発等に対する支援	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	知財の保護、活用により新たな付加価値創出に繋がるケースがあるのみならず、産業財産権出願を完了していること自体が他社への牽制となる。市内企業の競争力強化のため、周知をより強化し、当制度の更なる認知度向上を図る。		
	分野	商工・物流						
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	施策	新商品・技術開発等に対する支援	その他 (特記事項)				

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (1)事業高度化機械設備設置事業補助金		予算額	80,000 千円			
				決算額	29,435 千円			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(1)事業高度化機械設備設置事業補助金 中小製造事業所に対し、生産性の向上に資すると認められる機械設備設置経費に対する助成を行うことにより、地域の産業の活性化及び高度化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果			
	成果目標	機械設備設置支援件数 30件				<p>■補助金交付件数：16件 ■補助金交付金額：29,345千円</p> <p>企業や金融機関からの問い合わせに対しては、早期に対応し、積極的に訪問活動を実施。申請の支援を行うとともに事業課題のヒアリング等も実施、本補助金以外の支援にもつなげられるよう活動を行った。</p>		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R 5. 3. 31 現在	機械設備設置支援件数 30件	16件 (達成率：53%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響に加え、世界的な半導体不足などにより機械設備の納入時期の見通しが立たないことから、市内企業が設備投資に慎重になり、機械設備設置件数は16件と目標を下回ったが、補助制度の活用が市内製造業の生産性の向上や省エネに対する取り組みに寄与した。</p> <p>令和５年度以降は、当制度の認知度向上及び申請件数の増加を図るため、定期的に企業に対してアンケートを実施するなどして、企業の機械設備投資の有無や投資時期を把握し、ニーズの掘り起こしを行っていく。</p>
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響に加え、世界的な半導体不足などにより機械設備の納入時期の見通しが立たないことから、市内企業が設備投資に慎重になり、機械設備設置件数は16件と目標を下回ったが、補助制度の活用が市内製造業の生産性の向上や省エネに対する取り組みに寄与した。</p> <p>令和５年度以降は、当制度の認知度向上及び申請件数の増加を図るため、定期的に企業に対してアンケートを実施するなどして、企業の機械設備投資の有無や投資時期を把握し、ニーズの掘り起こしを行っていく。</p>	
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)					

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (2)現場改善支援事業		予算額	65,567千円の一部			
				決算額	65,567千円の一部			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(2)現場改善支援事業 市内中小企業が抱える経営課題の解決に向け、企業OBを中心とした経験豊かな専門アドバイザーを派遣し、現場作業改善（5S）や技術力向上、製品の高付加価値化を支援するほか、AIやIoTに関する相談等についても支援します。</p>		取組 状況	事業結果	<p>■現場改善支援事業所数：15事業所</p> <p>■成果発表会：1回実施</p> <p>その他講座：3講座実施 (現場改善関連1講座、IT関連2講座)</p> <p>合計120名参加</p>		
	成果目標	現場改善支援事業所数 8者						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R5.3.31 現在	現場改善支援事業所数 8者	15者 (達成率：188%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・業務改善の取り組みが一時的にならず、定着がされているのか フォローアップの必要あり。専門アドバイザーの手が離れた後も業務改善が自走できる人材組織体制を構築する支援が必要である。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定		予算額	- 千円	
				決算額	- 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 先端設備等導入計画について市が認定を行い、取得した先端設備について、初年度から3年分の固定資産税軽減措置を受けることができるほか、認定を受けた企業が中小企業融資制度を利用するときには、信用保証料の一部を補助します。</p>		取組状況	事業結果 <ul style="list-style-type: none"> <li>■新規認定件数：99件</li> <li>■変更認定件数：45件</li> </ul>	
	成果目標	新規認定数 150件				
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R5.3.31 現在 新規認定数 150件 99件 (達成率：66%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・ 目標の未達成理由等  今後も適切に認定事務の執行をする。
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・ 目標の未達成理由等  今後も適切に認定事務の執行をする。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (4) I T 技術の活用・促進に関する検討		予算額	6,320 千円			
				決算額	6,320 千円			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(4) I T 技術の活用・促進に関する検討 I T 技術導入に対する状況や姿勢は企業によって差があるため、静岡県 I o T 活用研究会や静岡商工会議所の I T 支援プロジェクトチーム等と連携しながら、きめ細かな支援策について検討を進めます。</p>		取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 静岡商工会議所と連携してITなんでも相談窓口を設置。</li> <li>■ 窓口相談、巡回指導、専門家派遣、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援に努めた。</li> </ul>		
	成果目標	IT導入に関する支援件数 150件						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R 5 . 3 . 31 現在	IT導入に関する支援件数 150件	282件 (達成率：188%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後も、DX推進など、デジタル活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていく。	
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化					
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流					
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後も、DX推進など、デジタル活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていく。	
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等		経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度				
	事業名	事業11 事業承継に対する支援		予算額	6,800 千円			
				決算額	4,735 千円			
	事業概要	<p>市内中小企業が円滑な事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにつながるため、国の動きに連動するとともに、関係機関と連携のもと、事業承継の支援体制を強化します。</p> <p>(1)相談及び相談者の課題等に応じた専門家の選定等 (2)専門家の派遣 (3)啓発セミナーの開催及びチラシ等による周知</p>		取組状況	事業結果	<p>■静岡商工会議所との連携により、事業承継に係る支援体制を構築。 ■経営者等への啓発をはじめ、事業承継に関する相談及び専門家派遣の支援を行った。</p>		
	成果目標	専門家派遣を通じた支援件数 80件						
	11	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	専門家派遣を通じた支援件数 80件	14件 (達成率：18%)
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化	事業評価	次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等	積極的なアプローチや広報ができておらず、目標を大きく下回った。さらにR3年度よりも数値が下回っていることや、静岡県事業引継ぎ支援センターとの業務が重なっていることもあり、現在の事業についてはR4年度で終了し、R5年度からは承継予定者の事業継続支援を軸とした事業へ移行する。		
		分野	商工・物流					
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度			
	事業名	事業12 中小企業融資制度による支援		予算額	150,000 千円		
				決算額	60,058 千円		
	事業概要	<p>市内中小企業が経営上必要な資金を金融機関からの融資を受ける際、利息及び保証料の一部を助成します。</p> <p>(1)各貸付金に対する利息補給 (市内16取扱金融機関に対し、上期・下期に利息補給)</p> <p>(2)小規模事業者経営改善（マル経）資金に対する利息補給 (借入者の委任を受けた商工会等に対し、年1回利息補給)</p> <p>(3)信用保証料に対する保証料補給 (静岡県信用保証協会の信用保証料の一部を補給)</p>		取組状況	事業結果	<p>【中小企業融資制度】</p> <p>■3年間実質無利子の新型コロナウイルス関連の県制度融資が令和4年度も継続され、申込が県制度融資へ偏ってしまった傾向であったが、令和4年度の市制度融資受付件数は、令和3年度の実績と同等の推移した。その他突発事象として、台風15号に対する「中小企業災害対策資金」の受付業務が発生し、受付件数は428件の実績があった。</p>	
	成果目標	融資制度申込件数 700件					
	12	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	融資制度申込件数 700件
政策			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
産業振興プラン位置付け		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>・新型コロナ関連の県制度融資は、時限的措置のため、終了後は市制度融資の利用が見込まれる。</p> <p>・事業者や金融機関からの情報収集により、時勢や状況に応じたより良い融資制度に向け、見直しを図っていく。</p> <p>・各制度融資、保証料補給事業等、市内事業者のためになる市の施策を説明会などを利用して引き続き周知していく。</p>	
		分野	商工・物流				
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度			
	事業名	事業13 企業OB人材等の活用		予算額	2,800 千円		
				決算額	1,448 千円		
	事業概要	<p>企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取り組みを推し進めます。</p>		取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <p>・事業名：第4回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和4年8月26日（金）13:00~17:30 ・場所：しずおか焼津信用金庫2階大会議室 静岡信用金庫研修センター大会議室</p> <p>・参加企業数：14社 ・参加新現役数：68名 ・マッチング率：14社/5社≒35.7%</p>	
	成果目標	<p>マッチング率（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 50%</p>					
	13	総合計画の位置付け（分野別）	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	<p>マッチング率（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 50%</p> <p>35.7% (達成率：71%)</p>
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	産業振興プラン位置付け	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>オンライン形式により実施しているが、対面式とは異なり、信頼関係の構築には一定の時間を要することから、関係機関との連携及び参加企業に対するフォローを強化していくとともに、マッチング率の向上のため、実施方法を改めて検討し直す。</p>
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策			中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (1)CSR活動表彰事業		予算額	1,872千円	
				決算額	1,056千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(1)CSR活動表彰事業 事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実践する中小企業を表彰することで、当該企業の企業価値の向上、経営基盤や競争力の強化を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■表彰企業数：2件</li> <li>■表彰企業の情報発信：7件</li> </ul>
	成果目標	表彰企業数 4件				
	14	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	表彰企業数 4件	2件 (達成率：50%)
	産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>経済団体や中小企業が集まる場での直接的な制度の周知など、応募件数を増やすための取組を行う。また、金融機関を通じて、表彰企業のインセンティブについて周知を促す。</p> <p>市民局、また企画局が実施するSDGsのイベント等と連携し、更なる表彰企業の情報発信を実施していく。</p>		
		施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)		

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度			
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (2)中小事業者技術表彰事業		予算額	996 千円		
				決算額	585 千円		
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(2)中小事業者技術表彰事業 新規又は独創性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を展開している中小製造事業所を表彰することにより、技術開発意欲の向上等を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	<p>■中小製造者の技術表彰制度の実施</p> <p>■表彰事業者数 4社</p> <p>■関係機関や事業者への訪問を通じて募集活動を行い、応募事業者の増加に努めた。 また、受賞事業者のテレビや新聞、雑誌等のメディアへの露出機会を増やすことで、制度自体の認知度向上を図った。</p>	
	成果目標	受賞事業者が広報された件数 3件					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R5.3.31 現在	受賞事業者が広報された件 数 4件 3件 (達成率：133%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価		<p>■表彰事業の認知度向上のため、今後も継続して各支援機関を通じた企業への情報提供に取り組む。</p>
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業		予算額	1,091 千円	
				決算額	817 千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会にて企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 主に女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む企業を表彰することで、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業表彰式の開催</li> <li>・いきいきワークスタイル通信の更新</li> <li>・表彰企業紹介冊子の作成</li> </ul>
	成果目標	表彰企業数 5件				
	14	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	表彰企業数 5件	4件 (達成率：80%)
		産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集の広報を手厚くし、表彰企業数を確保する。</li> </ul>	
		施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)		

ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度	
事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (1)「ホビーのまち静岡」推進事業		予算額	81,845 千円
			決算額	79,823 千円
事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(1)「ホビーのまち静岡」推進事業 本市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。</p>		取組状況	事業結果 ・ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業（静岡ホビースクエアの運営等）に対し、補助金の交付等支援を実施 補助金交付 1件 ・静岡ホビースクエアの維持管理業務の実施 施設修繕 1件
成果目標	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%			
総合計画の位置付け(分野別)	分野	観光・交流	進捗率等	R5.3.31 現在
	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します		「ホビーのまち静岡」の認知度 30% 83.8% (達成率279%)
産業振興プラン位置付け	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
	分野	観光・交流		
担当課等	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	その他(特記事項)	
	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり		
	分野	観光・交流		
	施策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します		
	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり		
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 プラモデル振興係		

事業 15	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度	
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (2)地域産業振興ブランド認証事業	予算額	3,232 千円	
			決算額	525 千円	
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(2)地域産業振興ブランド認証事業 市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシニアプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■PRイベント実績</p> <p>①ガモールマルシェ 販売会（7/14-18 .7/30-31） ②C4LAN 2022 SUMMER（販売ブース）（8/12-14） ③柚木の郷（販売ブース）（9/18） ④しんきんフェア2022（10/05） ⑤しんきんビジネスフェア（10/13） ⑥産業フェアしずおか2021（11/26-27）</p>
	成果目標	展示販売会等実施回数 6回			
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	展示販売会等実施回数 6回	6回 (達成率：100%)
産業振興 プラン 位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業 評価 次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	認証商品の認知度及び売上向上を図るため、庁内や認証事業者と連携した効果的な事業展開を検討する。		
	施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	分野 商工・物流				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係	その他 (特記事項)			

事業 15	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度		
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業	予算額	(協議会への負担金) 5,350 千円		
			決算額	(協議会への負担金) 5,350 千円		
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>(3)官民連携の下、H30年度末に設立した「オクシズ『漆の里』協議会」を主体に、都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、漆の地産地消体制の構築・静岡の漆文化-Shizuoka japan-のブランド化を目指します。</p> <p>【令和４年度実績】※協議会事業実績 （調査事業）試験植樹、成分分析の実施 （付加価値向上事業）商品開発（アクセサリーの試作） （普及啓発・人材育成・情報発信事業）「オクシズ『漆』の学校」の開催、漆掻き道具調査、各種イベントへのブース出展、SNS等での情報発信 ほか</p>	
	成果目標	漆植樹面積 0.36ha				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	農林水産	進捗率等	R 5. 3 .31 現在	漆植樹面積 0.36ha
		政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します			
		施策	地域資源を活かした新しい産業の創出			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	農林水産	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	市内産漆の地産地消体制の構築を目指し、試験植樹を含む協議会の各種事業を計画的に展開していくと共に、事業のブランド化を図ることで市民や民間企業等の理解を深め、事業継続のための資金開発、体制づくりに繋げていく必要がある。
		政策	多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します			
施策		地域資源を活かした新しい産業の創出				
担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 森林文化都市政策推進室		その他 (特記事項)	※企業版ふるさと納税を活用している		

事業 16	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和４年度		
	事業名	事業16 地場産品の情報発信・愛用推進		予算額	305,496千円	
				決算額	301,299千円	
	事業概要	<p>JR静岡駅構内の駿府楽市と郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行います。</p> <p>なお、駿府匠宿の現状は、来場者数は減少傾向にあり、伝統工芸の情報発信拠点としての役割が弱くなっています。このような状況を改善するため、経営面からのアプローチ、あり方からのアプローチを行い、伝統工芸の振興と持続可能な施設運営を目指しているところです。</p>		取組状況	事業結果	<p>■JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間27回の展示会を開催した。</p> <p>・R4来場者数：294,200人</p> <p>・隣接する駿府楽市での工芸品のR4年間売上金額：40,770千円</p> <p>■駿府匠宿 来場者数 93,618人 駿府匠宿 創作体験者数 29,513人 駿府匠宿 利用者満足度 97.8%</p> <p>■施設のあり方を検討した結果、伝統工芸への直接的な訴求でなく、間接的なアプローチにより創作体験の利用へ繋げる手法により、創作体験者の増加を目指す方針へ転換。そのため、令和3年度からは施設の目標を「来場者数」から「創作体験者数」に変更し、「伝統工芸を身近に感じ、未来に繋ぐ」を目指す施設の姿とした。</p>
	成果目標	<p>①隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 31,500千円</p> <p>②駿府匠宿創作体験者数者数 19,300人</p> <p>③当該施設利用者満足度 92%以上</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	<p>①隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 31,500千円</p> <p>①40,770千円 (達成率：129%)</p> <p>②29,513人 (達成率：153%)</p> <p>②駿府匠宿創作体験者数者数 19,300人 (達成率：106%)</p> <p>③当該施設利用者満足度 92%以上 (達成率：97.8%)</p>
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■当初目標の売上金額を大幅に上回ることができたが、コロナ禍以前と比較すると、回復しきっていない。引き続き新型コロナウイルス感染症対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するとともに、デジタルサイネージの導入や展示コーナーの改修を実施していく必要がある。</p> <p>■駿府匠宿では、指定管理者の創意工夫により、創作体験の改善、SNSを活用した広報戦略の実施などが功を奏し、創作体験者数、利用者満足度とも目標を上回った。令和5年度から新規創作体験「模型」を導入する予定している。指定管理者および地場産業界と連携して施設のさらなる魅力向上を図る。</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
		分野	商工・物流			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業		予算額	5,760 千円	
				決算額	4,384 千円	
	事業概要	<p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業 小学生に、ものづくりと地場産品に対する興味を喚起することで地場産業のPRと将来の後継者育成につなげます。</p>		取組状況	事業結果	
	成果目標	申込児童数 3,250人				<p>■申込児童数：2,207人</p> <p>■コロナ禍で、学校からの申込件数が減少したため、各学校への本事業の申込案内等の再通知などの体験学習に関する情報共有を通じて、本事業の周知を図った。また、駿府匠宿と受け入れ体制の状況把握や新型コロナウイルス感染症対策を徹底するために連絡を密に行うなど、より多くの児童に体験してもらうための対策を行った。</p>
	17	分野	商工・物流		進捗率等	
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	<p>申込児童数 3,250人</p> <p>2,207人 (達成率：68%)</p>
		施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	17	産業振興プラン位置付け	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>より多く学校に参加してもらうための取り組みが必要になる。未実施校やコロナ前まで参加していた学校に対しても引き続き明確で効率的な周知を行う。</p>
施策			次代を担う多様な人材の育成			
担当課等			経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)	

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度				
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (2)ものづくり教育推進事業	予算額	1,530 千円				
			決算額	1,499 千円				
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。  (2)ものづくり教育推進事業 小学生が、ホビ－産業の歴史等について学び、かつ実際にプラモデルの工作体験をすることによって、ものづくりの楽しさを体験してもらうとともに、プラモデルファンを増やし、将来のホビ－産業を担う人材の育成に寄与します。	取組状況	事業結果	令和3年度から「ものづくりキャリア教育推進事業」として子どもたちのものづくりへの関心を高めるとともに、本市に根付いた産業及びその仕事への理解を深めるため、市内小学校に対し、プラモデル等本市ものづくり産業をテーマにした出前授業を実施。授業を受けた児童の大部分にものづくりについて関心を持ってもらうことができた。  応募校19校 実施校19校（1,322人）			
	成果目標	ものづくりに興味を持った児童 60%						
	17	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 5. 3 .31 現在	ものづくりに興味を持った児童 60%	91.1% (達成率：152%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	実施校からの好評をうけ、今後も引き続き、プラモデルをはじめとした静岡市を代表するものづくり産業（缶詰等）について、各学校のキャリア教育のニーズに対応するため、申込校と講師との連携を密にして実施していく。	
		施策	次代を担う多様な人材の育成					
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流					
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります					
施策		次代を担う多様な人材の育成						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 プラモデル振興係	その他 (特記事項)						

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等		予算額	116749のうちの一部 千円	
				決算額	114268のうちの一部 千円	
	事業概要	<p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等</p> <p>主に小学生を対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学びます。</p>		取組状況	事業結果	
	成果目標	年間利用者 100,000人				しごと・ものづくり講座などの各事業において、商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供した。
	17	分野	商工・物流		進捗率等	
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>施設の利用者の増加に向けて、施設の立地性を活かし、地域（商店街）や企業とのさらなる連携強化を図るとともに、効果的な情報発信に努めていく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による施設の入館者数制限により、年間利用者数が大幅に減少している。</p>
		施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	施策	次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)			

事業 17	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (4)プログラミング教育推進事業	予算額	- 千円		
			決算額	- 千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。  (4)プログラミング教育推進事業 小・中学校におけるプログラミング教育の実施に向けて、教員向けの研修会を行うなど、準備を進めます。	取組状況	事業結果	中学校技術・家庭科（技術分野）において、情報技術の「計測と制御の技術」について学ぶ研修を1回実施。	
	成果目標					
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	子ども・教育	進捗率等	R5.3.31 現在	
		政策	学校、家庭、地域が連携し、社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てます	事業 評価	次年度に向けた改善点・ 目標の未達成理由等	令和5年度の中学校技術分野の研修会は内容を変更して実施。
		施策	教育力の向上			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次世代を担う多様な人材の育成				
担当課等	教育委員会事務局 教育センター 情報教育支援室	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (1)若者の就労支援事業	予算額	988 千円	
			決算額	979 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(1)若者の就労支援事業 就労支援セミナーの開催や、出張相談会・カウンセリング相談を実施することで、働くことに悩む15歳～39歳までの若者（若年無業者）の就労を支援します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■親と若者の就労支援セミナー 開催：2回 参加者：延べ42名</p> <p>■出張相談会 開催：10回 相談件数：延べ19件</p> <p>■臨床心理士による心理カウンセリング 開催：20回 相談件数：延べ84件</p>
	成果目標	親と若者の就労支援セミナー 参加者満足度93%			
18	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次代を担う多様な人材の育成</p>	進捗率等	R5.3.31 現在	親と若者の就労支援セミナー 参加者満足度93% 93.2% (達成率：100%)
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次代を担う多様な人材の育成</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>引き続き、保健福祉長寿局等関係機関と連携し、対象者の掘り起こしに努めていく。</p>	
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)		

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業		予算額	14,354 千円	
				決算額	14,350 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業 地元就職並びに、UIターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組みを推し進めます。</p>		取組 状況	事業結果	
	成果目標	<p>①市内企業への就職関心度95% ②将来の選択肢が広がった生徒の割合96%</p>				<p>①交流会等の実施回数 6回 ②就職支援情報誌「静岡で働こう。2022」令和4年12月1日約30,000部発行 ③若者就活応援サイト「しずまっち」令和4年度閲覧数197,380件 ④高校生向けキャリア形成支援プログラム 実施校数延べ14校</p>
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R5.3.31 現在
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業 評価	<p>①市内企業への就職関心度95% (達成率：100%) ②将来の選択肢が広がった生徒の割合96% (達成率：102%)</p>
		施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>引き続き、早期からのキャリア形成に取り組むとともに、しずまっち等を活用しながら、若者と企業が相互交流できる機会を創出し、市内企業への関心を高められるよう努める。</p>
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (3)企業OB人材等の活用【再掲】	予算額	2,800 千円		
			決算額	1,448 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(3)企業OB人材等の活用【再掲】 企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取組を推し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名：第4回 静岡市新現役交流会</li> <li>・日時：令和4年8月26日（金）13:00~17:30</li> <li>・場所：しずおか焼津信用金庫2階大会議室 静岡信用金庫研修センター大会議室</li> <li>・参加企業数：14社</li> <li>・参加新現役数：68名</li> <li>・マッチング率：14社/5社≒35.7%</li> </ul>	
	成果目標	マッチング率（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 50%				
	総合計画の位置付け（分野別）	分野 商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	マッチング率（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 50%	35.7% (達成率：71%)
	産業振興プラン位置付け	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	オンライン形式により実施しているが、対面式とは異なり、信頼関係の構築には一定の時間を要することから、関係機関との連携及び参加企業に対するフォローを強化していくとともに、マッチング率の向上のため、実施方法を改めて検討し直す。	
	施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度				
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (4)高齢者就労促進事業		予算額	20,000 千円			
				決算額	4,768 千円			
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(4)高齢者就労促進事業 高齢者向けの就労相談窓口を新たに設置するなど、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備します。</p>		取組状況	事業結果	<p>■行政、経済界、福祉団体等と官民連携して、令和元年6月に静岡庁舎2階にオープンしたシニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」を中心に、個別相談、求人開拓等に取り組んだ。</p> <p>■厚労省モデル事業「生涯現役地域づくり環境整備事業」に採択され、令和4年8月から同事業による運営を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口での個別相談件数856件</li> <li>・訪問企業数91社</li> <li>・シルバー人材センター新規会員登録者数51名</li> <li>・窓口利用満足度99%</li> </ul>		
							成果目標	高齢求職者の雇用・就業数 160人
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	高齢求職者の雇用・就業数 160人	287人 (達成率179%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>・厚労省モデル事業「生涯現役促進地域連携事業」を令和元年度から令和3年度まで実施。当初令和4年度の成果目標は空欄となっていたため、参考として、新モデル事業「生涯現役地域づくり環境整備事業」を実施した令和4年8月～令和5年3月の指標及び実績を記載。</p> <p>・支援対象をシニアを中心とした全世代に広げ、雇用によらない社会参加活動等も含めた活躍支援を実施する。</p>
		施策	若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出					
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流					
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります					
担当課等	保健福祉長寿局 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部 誰もが活躍推進係			その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (5)女性活躍ブランド認定事業		予算額	356千円	
				決算額	302千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(5)女性活躍ブランド認定事業 企業等において女性が企画・開発した商品等のうち、先駆性の高い優れたものを女性活躍ブランドとして認定し、女性活躍の好事例として広く情報発信することで、女性のモチベーションアップや周辺企業への女性活躍の取組波及等、女性の活躍推進を図ります。</p>		取組状況	事業結果	<p>■認定件数：3件</p> <p>■情報発信実績： （１）イベント出展・展示 ・庁内外における展示（計4回） （２）各種メディア ・テレビや新聞、ラジオ、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成、配布</p>
	成果目標	—				
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	—	
		産業振興プラン位置付け	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>これまで新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となっていたが、令和５年度は再開されるイベントも多いため、各種イベントへの出展や、その他のPR方法の充実に模索していく。</p>	
			施策 良質な就労環境の創出			
	担当課等	市民局 男女共同参画課 男女共同参画係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援	予算額	※若者の地元就職U I Jターン促進事業の一部 - 千円	
			決算額	- 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援 首都圏へ進学した女子学生を対象に、静岡市内で活躍する女性との交流会を開催し、市内での就職を促進します。</p>	取組状況	事業結果	■ 1回開催 オンライン開催（当日参加者 県内外大学生1～3年生6人）
	成果目標	就職関心度 90%以上			
18	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>	進捗率等	R5.3.31 現在	就職関心度 90%以上 100% (達成率：111%)
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>引き続き、学生と社会人が活発に交流し市内企業への関心を高める方法を、対面での実施も含め検討していく。また、しずまっちを活用した募集など、周知にも力を入れる。</p>	
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額	1,000 千円	
			決算額	998 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 働き方改革に取組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>&lt;ダイバーシティ経営推進セミナー&gt; ■実施回数 2 回 管理職向け 1 回（参加者延べ16名） 従業員向け 1 回（参加者延べ27名）</p>
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上			
18	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 良質な就労環境の創出</p>	進捗率等	R 5. 3 .31 現在	<p>ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上</p> <p>100% (達成率：125%)</p>
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 良質な就労環境の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>参加者の後追い調査ができるやり方を模索する。</p>	
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度			
	事業名	事業19 若手職人の育成事業	予算額	12,280 千円			
			決算額	8,147 千円			
	事業概要	<p>地場産業界の後継者確保・育成及び新規就業者の定着を図るため、「クラフトマンサポート事業」として財政的な支援を行います。</p> <p>具体的には、短期現場実習、長期現場実習に対する助成に加え、長期現場実習を修了した者を雇用した事業主に対して雇用奨励金を交付する「雇用奨励金交付事業」、新たに職人として独立した者を対象に建物の賃借料等を補助する「独立支援補助金交付事業」を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>【R4実施状況】</p> <p>①現場実習短期支援事業 新規3名 ②現場実習長期支援事業 新規4名 継続3名 ③独立支援事業 継続3名 ④雇用奨励金 継続2名</p> <p>・短期支援の新規3名を開始した。うち2名は、長期支援に移行し、継続中。うち1名は一身上の都合により、長期支援を途中断念した。</p> <p>・途中終了もあったが、年度末での長期支援実施者は5名であり、職人育成は順調に進んでいる。</p> <p>・独立支援、雇用奨励は前年度からの継続のみだが、補助金による支援により順調に経営が続いている。</p>		
	成果目標	<p>新規制度利用者数</p> <p>①長期支援4人 ②独立支援-人</p>					
	19	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	<p>新規制度利用者数</p> <p>①長期支援4人 ②独立支援-人</p>	<p>新規制度利用者数</p> <p>①長期支援4人（達成率：100%） ②独立支援-人（達成率：）</p>
		総合計画の位置付け（分野別）	<p>政策</p> <p>次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>①実習者の途中挫折を減らすフォローが必要。実習者・指導者1人1人に対して個別な対応を行っていく。</p> <p>②手続きの簡素化など、申請者の負担を減らす取り組みが必要。</p>	
		施策	次代を担う多様な人材の育成				<p>雇用奨励については、令和４年度に制度見直しを行い、利用者数が増加したことで、若手職人の業界定着を図ることができた。制度設立から20年以上経過しているため、他の制度についても見直しを検討していく。</p>
	産業振興プラン位置付け	<p>分野</p> <p>商工・物流</p> <p>政策</p> <p>次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策</p> <p>次代を担う多様な人材の育成</p>					
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他（特記事項）			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和４年度		
	事業名	事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額	1,000 千円		
			決算額	998 千円		
	事業概要	働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等、市内企業における仕事と生活の両立や、女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。	取組状況	事業結果	<ダイバーシティ経営推進セミナー> ■実施回数 2 回 管理職向け 1 回（参加者延べ16名） 従業員向け 1 回（参加者延べ27名）	
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合 80%以上				
	20	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 5. 3. 31 現在
政策			次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		良質な就労環境の創出				
産業振興プラン位置付け		分野	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	参加者の後追い調査ができるやり方を模索する。
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	施策	良質な就労環境の創出				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)				

ものづくり基本計画		方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和４年度	
事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (1)伝統工芸技術アーカイブ事業	予算額	2,190 千円		
		決算額	1,667 千円		
事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■業界調整により保存対象となる1技術を決定しうち下記を保存し、また高い技術による工芸作品を購入することでアーカイブを実施した</p> <p>技術保持職人による技術工程の映像制作： 1本（Blu-Ray 10枚、DVD20枚） 工程サンプル制作：1セット アーカイブ対象技術：木彫刻 技術保持者：齊藤良夫氏</p> <p>購入保存工芸品： 木工指物、駿河漆器、駿河和染、駿河蒔絵、駿河竹千筋細工 木彫刻品等 計7点</p>	
	成果目標			映像化本数：1本	
21	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在	映像化本数：1本 1本 (達成率：100%)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■技術保持者の健康状態は今後も確実とはいえなため期間を置かず確実な保存を図っていく必要がある。また各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていく。更にアーカイブ技術は各職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、技術保持者との協議もしっかりと行う必要がある。</p>
		施策			
	施策	次代を担う多様な人材の育成			
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	施策	次代を担う多様な人材の育成			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係	その他(特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和４年度	
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (2)伝統工芸保存講習会の開催		予算額	1,890 千円
				決算額	1,815 千円
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(2)伝統工芸保存講習会の開催 本市の地場産業界の人材の育成や確保を図るため、地元伝統工芸業界の若手職人を対象に、伝統工芸技術の保存・継承・技術練磨等にかかる講習会を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■地元熟練職人を講師に、後継者となる若手が受講者となり夜間講習にて開催した 開催部門：木工、拭漆、竹千筋細工、漆器、蒔絵（５部門） 参加者：地元業界従事者 37名</p> <p>①木工指物の部：令和4年7月～12月（17日間） （受講者）地元木工業界従事者8名</p> <p>②駿河竹千筋細工の部：令和4年9月～12月（11日間） （受講者）地元竹千筋細工業界従事者5名</p> <p>③拭漆の部：令和4年10月～12月（10日間） （受講者）地元木工業界従事者等6名</p> <p>④漆器の部：令和4年5月～6月（20日間） （受講者）地元漆器業界従事者等10名</p> <p>⑤蒔絵の部：令和4年10月～令和5年3月（20日間） （受講者）地元蒔絵漆器業界従事者等8名</p>
成果目標	<p>①開催部門：5部門 ②参加者数：38名</p>				
21	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R5.3.31 現在
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	<p>①開催部門：5部門 （達成率：100%） ②参加者数：37名 （達成率：97%）</p>
	施策	次代を担う多様な人材の育成	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>		
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価	<p>講師の高齢化による人材不足は避けがたく、中堅職人の選定を増加していく必要がある。 開催形式上、蜜になりがちなが新型コロナウイルス対策は充分にとられたため、今後も必要に応じ同様の対応をとっていく必要がある。 また、高度な技術継承を求める声もあり、より高度なコースも検討していく。</p>
政策		次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和４年度		
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (3)伝統工芸技術秀士の顕彰		予算額	600千円	
				決算額	500千円	
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(3)伝統工芸技術秀士の顕彰 本市の伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰し、そのPRを行います。</p>		取組状況	事業結果	<p>■各伝統工芸業界において高度な技術を有し、伝統工芸展等へ積極的に出展し技術研鑽に励む職人は、高齢化等により消失しつつある現実の中、指定を見送ることとした。</p>
	成果目標	秀士の指定者数：1名				
	21	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R5.3.31 現在	秀士の指定者数：1名	0名 (達成率：0%)
		政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		<p>■対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になる危惧があり、安易な拡大には問題がある。今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索したいが、それでも人的に限りがあるため、その幅を検討していく必要がある。</p>	
		施策 次世代を担う多様な人材の育成				
	産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流				
		政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
		施策 次世代を担う多様な人材の育成				
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和4年度	
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】	予算額	(協議会への負担金) 5,350 千円	
			決算額	(協議会への負担金) 5,350 千円	
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>(3)官民連携の下、H30年度末に設立した「オクシズ『漆の里』協議会」を主体に、都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、漆の地産地消体制の構築・静岡の漆文化-Shizuoka japan-のブランド化を目指します。</p> <p>【令和4年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 試験植樹、成分分析の実施 (付加価値向上事業) 商品開発 (アクセサリーの試作) (普及啓発・人材育成・情報発信事業) 「オクシズ『漆』の学校」の開催、漆掻き道具調査、各種イベントへのブース出展、SNS等での情報発信 ほか</p>
	成果目標	漆植樹面積 0.36ha			
21	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 農林水産</p> <p>政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します</p> <p>施策 地域資源を活かした新しい産業の創出</p>	進捗率等	R5.3.31 現在	漆植樹面積 0.36ha 0.47ha (達成率：131%)
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 農林水産</p> <p>政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します</p> <p>施策 地域資源を活かした新しい産業の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>市内産漆の地産地消体制の構築を目指し、試験植樹を含む協議会の各種事業を計画的に展開していくと共に、事業のブランド化を図ることで市民や民間企業等の理解を深め、事業継続のための資金開発、体制づくりに繋げていく必要がある。</p>
	担当課等	<p>経済局農林水産部 中山間地振興課 森林文化都市政策推進室</p>	その他(特記事項)		※企業版ふるさと納税を活用している

事業	ものづくり基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和４年度	
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承	予算額		千円
			決算額		千円
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 「地域おこし協力隊」は、その地域に居住してもらいながら、最長３年間隊員として地域おこし活動に取り組んでもらうものです。井川地区の活動テーマは「井川メンバの保存・伝承」であり、現在市内に１人しかいない職人の技術を継承するための取組を実施します。</p>	取組状況	事業結果	令和３年度に終了
	成果目標				
21	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次代を担う多様な人材の育成</p>	進捗率等	R5.3.31 現在	
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次代を担う多様な人材の育成</p>	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
	担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係	その他(特記事項)		